

平成29年度

## 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会「分科会」

と き 平成30年1月26日(金) 午後1時30分～  
ところ 広域行政センター 3階「学習ホール」

一 次 第 一

1 開 会

2 報 告 事 項

3 協 議

(1) 由利本荘市地域公共交通網形成計画 実施事業等の検証について

- ・【施策1】「地域拠点間のアクセス強化」について
- ・【施策2】「地域拠点を核としたフィーダー交通の導入」について
- ・【施策3】「地域拠点・交通結節点の整備促進」について

(2) そ の 他

4 閉 会

**由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会  
「分科会」委員名簿**

**【委 員】**

(※備考欄の職氏名は本日の代理出席者)

所 属	職 名	氏名(委員名)	備 考
東日本旅客鉄道(株)秋田支社	総務部長	塩 原 敬	総務部企画室 副課長 見立屋 秀樹
由利高原鉄道(株)	代表取締役社長	春 田 啓 郎	(欠席)
羽後交通(株)	取締役社長	齋 藤 善 一	本荘自動車営業所長 五十嵐 政雄
(一社)秋田県ハイヤー協会 本荘由利支部	支部長	小 石 和 弥	
国土交通省東北運輸局 秋田運輸支局	支局長	木 村 和 博	(欠席)
秋田県観光文化スポーツ部 交通政策課	課長	高 橋 一 也	地域交通対策監 藤原 亨
(一社)由利本荘医師会	会長	渡 邊 康	(欠席)
由利本荘市PTA連合会	会長	鈴 木 勉	
由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	阿 部 タツ子	(欠席)
由利本荘市老人クラブ連合会	会長	榎 本 義 孝	
(公社)由利本荘青年会議所	理事長	安 倍 一 誠	(欠席)
鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	正 木 正	
由利本荘市企画調整部	部長	佐 藤 光 昭	(欠席) ※分科会 副委員長
本荘地域公共交通利用者		畠 山 芳 子	
矢島地域公共交通利用者		佐 藤 久 美	
岩城地域公共交通利用者		川 上 幸 一	
由利地域公共交通利用者		多 田 厚	
大内地域公共交通利用者		眞 坂 平 通	
東由利地域公共交通利用者		長 谷 山 博 昭	
西目地域公共交通利用者		鷹 島 恵 一	
鳥海地域公共交通利用者		佐 藤 弘 志	
秋田大学	准教授	日 野 智	※分科会 委員長
秋田県立大学	准教授	星 野 満 博	※分科会 副委員長

**【国・秋田県】**

所 属	職 名	氏 名	備 考
秋田県観光文化スポーツ部 交通政策課	主事	大 川 裕 也	

【事務局:地域振興課及び各総合支所】

所 属	職 名	氏 名	備 考
企画調整部 地域振興課	課長	木 内 阜 朗	
同上	連携推進班長	佐 藤 有 介	
同上	主査	伊 藤 善 裕	
矢島総合支所 振興課	主査	東海林 ひろ子	
岩城総合支所 振興課	主査	今 野 信 幸	
由利総合支所 振興課	主査	小 田 嶋 一 成	(欠席)
大内総合支所 振興課	班長	遠 藤 仁	
東由利総合支所 振興課	参事兼課長補佐 兼班長	長 谷 川 潤 一	
西目総合支所 振興課	主事	伊 藤 幹 寛	
鳥海総合支所 振興課	課長補佐兼班長	松 田 英 輝	(欠席)

# 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会分科会設置要綱

## (設置)

第1条 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会規約（以下「規約」という。）第10条第1項に基づき、由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会分科会（以下「分科会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 分科会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 本市地域公共交通に関する総合的な計画の検証・検討に関すること。
- (2) その他会長が必要と認めた地域公共交通施策に関すること。

## (組織)

第3条 分科会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、委員の中からの互選により充て、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員の中から委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐して会務を掌理し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、委員長の職務を代理する。
- 5 委員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。ただし、会長が必要と認めるときは、協議会委員の中から別に委員を任命することができる。

## (分科会の会議)

第4条 分科会は、会長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

## (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、委員長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成29年1月1日から施行する。

別表（第3条関係）

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会分科会

東日本旅客鉄道株式会社秋田支社長又はその指名する者
由利高原鉄道株式会社代表取締役社長又はその指名する者
羽後交通株式会社取締役社長又はその指名する者
(一社) 秋田県ハイヤー協会本荘由利支部長又はその指名する者
国土交通省東北運輸局秋田運輸支局長又はその指名する者
秋田県観光文化スポーツ部交通政策課長又はその指名する者
(一社) 由利本荘医師会会长又はその指名する者
由利本荘市PTA連合会会长又はその指名する者
由利本荘市身体障害者协会会长又はその指名する者
由利本荘市婦人団体連絡協議会会长又はその指名する者
由利本荘市老人クラブ連合会会长又はその指名する者
(公社) 由利本荘青年会議所理事長又はその指名する者
鳥海山ろく線運営促進連絡協議会会长又はその指名する者
由利本荘市企画調整部長
本荘・矢島・岩城・由利・大内・東由利・西目・鳥海地域の公共交通利用者
秋田大学又は秋田県立大学の教授又は准教授

# 資料1

## 石脇地区公共交通再編に係る「“新”市内線」運行ルート図(予定)

<“新”市内線ルート図説明>

・矢印が走行ルート(↑)

※ただし、「イオン方面へ向かう便」と「組合病院へ向かう便」

の双方向の運行

・走行時間は約1時間

・■は既存のバス停、□は新規バス停と同じ

下図は組合病院方面への経路  
(逆方向の運行経路もあり)=双方向運行

（各バス停で乗車できる便の可能性が広がる）

＜路線を統合することで経路の変更点＞

・「由利本荘アリーナ」へ乗り入れすること(※10/1より)  
(「秋田線」しか通過していないかった部分にバス停ができる)

（各バス停で乗車できる便の可能性が広がる）

左記バス停一覧の番号は図のバス停番号と同じ

29 石脇交番前

30 竜巻

31 赤瓦

32 由利工業高校前

33 技能センター前

34 ばいんすば前

35 車検場前

36 団地前

37 促進住宅前

38 田尻

39 オン本荘前

40 マリーナ入口

41 ハロー・ワーキング本荘前

42 由利本荘アリーナ

43 ハロー・ワーキング本荘前

44 本荘マリーナ入口

45 田尻野

46 菅原病院前

47 石脇ショッピングセンター前

48 由利振興局前

49 砂子下

50 東北電力前

51 実町一丁目

52 市役所前

53 桜小路

54 本荘駅前

55 桜小路

56 北都銀行前

57 実町一丁目

58 由利本荘市役所

59 本荘大町

60 本荘大町

61 本荘大町

62 本荘大町

63 本荘赤館

64 本荘赤館

65 本荘赤館

66 本荘赤館

67 本荘赤館

68 本荘赤館

69 本荘赤館

70 本荘赤館

市内中心部は、複数回線由

するバス停があるため矢印

がありませんので、黒線上の

バス停番号を追って経路をご

確認ください。



### <東廻り>/組合病院方面

No バス停  
スタート 本荘営業所  
2 実町一丁目  
3 北都銀行前  
4 桜小路  
5 本荘駅前  
6 桜小路  
7 市役所前  
8 実町一丁目  
9 本荘大町  
10 美倉町  
11 岩別下  
12 本荘第一病院前  
13 県立大学入口  
14 由利高校入口  
15 羽後交通整備工場前  
16 由利組合病院前  
17 羽後交通整備工場前  
18 由利高校入口  
19 川口  
20 石脇  
21 中町  
22 上ノ山団地入口  
23 三軒町  
24 緑町  
25 新山公園前  
26 新山小学校入口  
27 竜巻  
28 山ノ神  
29 石脇交番前  
30 竜巻局前  
31 赤瓦  
32 由利工業高校前  
33 技能センター前  
34 ばいんすば前  
35 車検場前  
36 団地前  
37 促進住宅前  
38 田尻  
39 オン本荘前  
40 マリーナ入口  
41 ハロー・ワーキング本荘前  
42 由利本荘アリーナ  
43 ハロー・ワーキング本荘前  
44 本荘マリーナ入口  
45 田尻野  
46 菅原病院前  
47 石脇ショッピングセンター前  
48 由利振興局前  
49 砂子下  
50 東北電力前  
51 実町一丁目  
52 市役所前  
53 桜小路  
54 本荘駅前  
55 桜小路  
56 北都銀行前  
57 実町一丁目  
58 由利本荘市役所

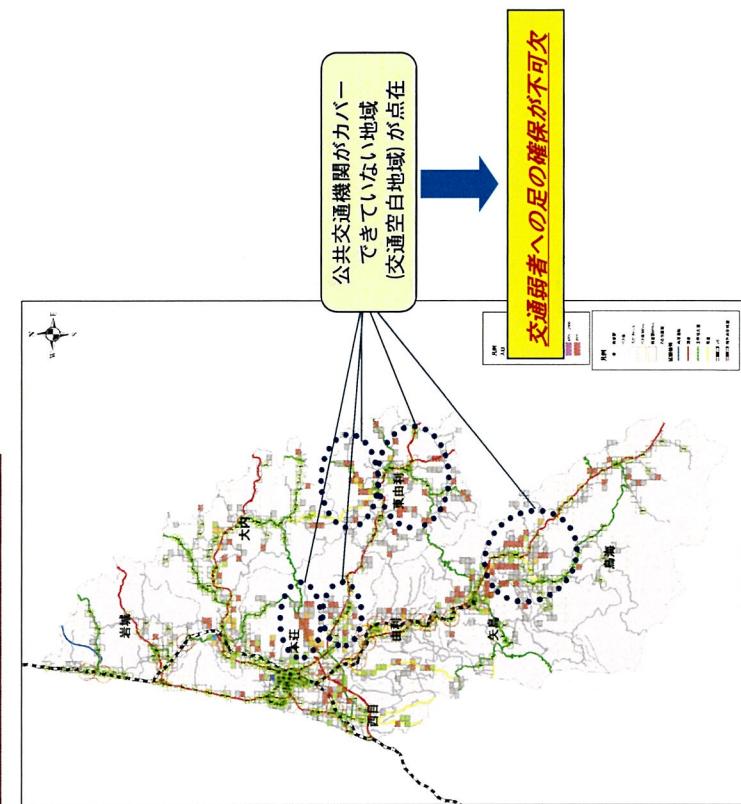
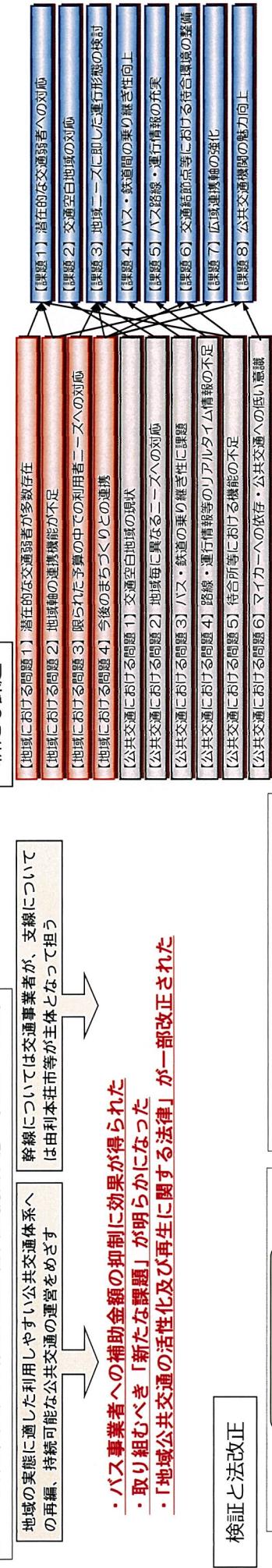
## 由利本荘市地域公共交通網形成計画 概要

(資料 2)

H27.3.18 企画調整部地域おこし課

平成22年度に策定された「由利本荘市地域公共交通総合連携計画」が期間終了となることを受け、近年の新たな課題への対応などを盛り込んだ「由利本荘市公共交通網形成計画」を策定します。本計画は、駅やバス停から離れており公共交通機関を容易に利用できません。本計画は、「新たな課題」の解消に向けて、事業の持続可能性に配慮しながら取り組んで行くための方針を示すものです。

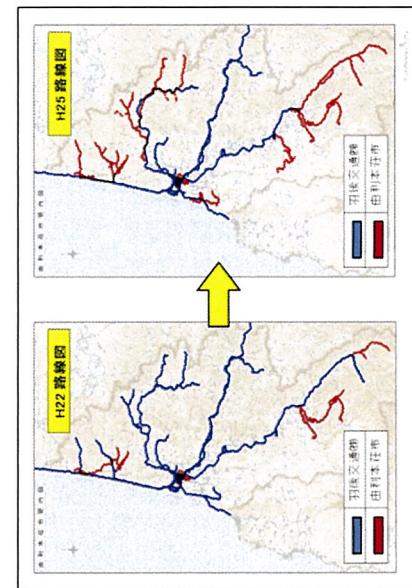
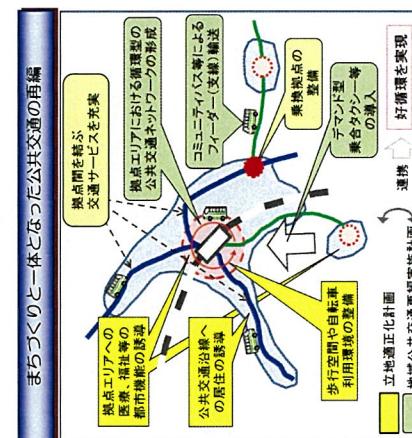
### 1. 「由利本荘市地域公共交通総合連携計画」(H22~H26)



▲本市における交通空白地域の発生状況

出典：国土のグランドデザイン2050（国土交通省）

▲バス路線図の変遷 (H22→H25)

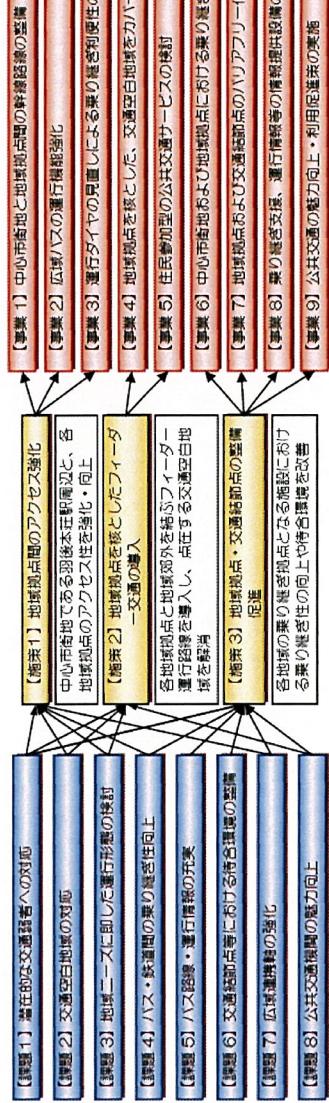


## 2. 由利本荘市地域公共交通網形成計画の概要

### 基本理念

交通弱者への対応を図るため、交通空白地域を解消するとともに、持続可能な公共交通体系を構築します。

### 基本施策

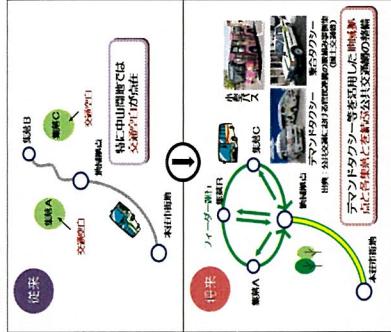


### 実施スケジュール

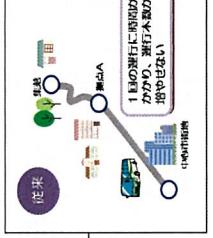
地域	実施期間		
	H27	H28	H29
由利本荘市	住民説明会・ワークショップによる意見交換等による 意見交換等による 地図における地図等についての検討	由利本荘市との意見交換等による 意見交換等による 地図における地図等についての検討	由利本荘市との意見交換等による 意見交換等による 地図における地図等についての検討
あつた地域	乗用開始		

### 計画のアウトライン

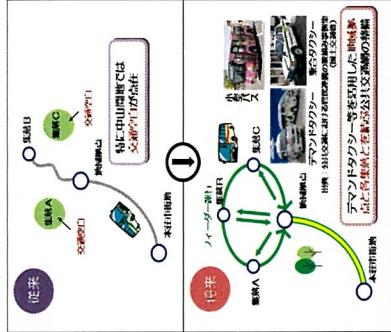
記述項目	内容
対象区域	由利本荘市全域
実施期間	5年間 (H27~31年度まで)
実施主体	行政、地域住民、交通事業者、関係機関



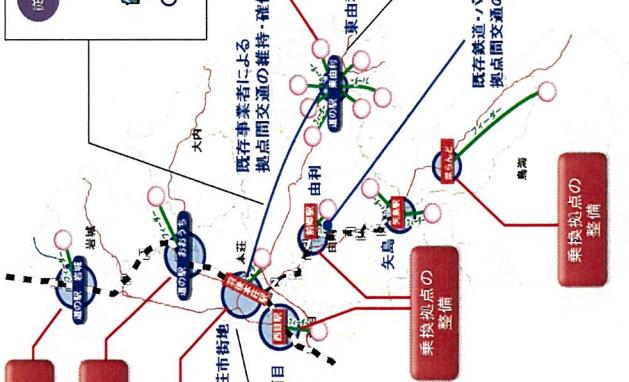
【施策1】



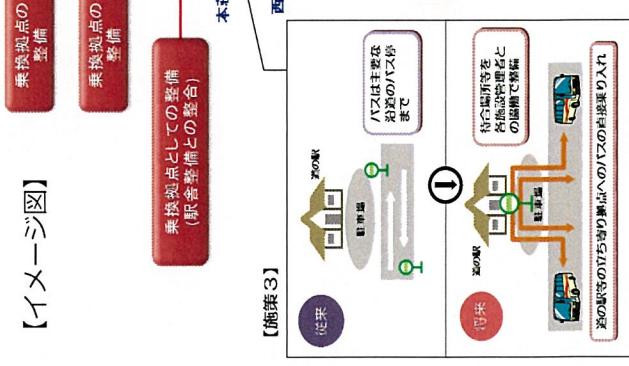
【施策2】



【イメージ図】



【施策3】



(資料3)

# 由利本荘市 地域公共交通網形成計画 事業評価・検証(案)

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会「分科会」

(平成30年1月26日実施)

# 由利本荘市地域公共交通活性化協議会

事業名：網形成計画事業実施（施策1）

## 概要

### ＜施策1＞地域拠点間のアクセス強化

右に記載の「目的・必要性」に基づいた個別の事業を実施し、課題の解決を図ることで目標の達成を目指します。

#### ◎事業名と実際に入組んだ内容など

##### 【事業1】中心市街地と地域拠点間の幹線路線の整備

・本荘地域に広域拠点を、7つの地域に地域拠点を設置

・7地域の拠点から地域内カーバーするコミュニティバスを運行

##### 【事業2】地域バスの運行機能強化

・現行の広域路線…(秋田市)急行秋田線 (横手市)急行横手線

(にかほ市)象潟線

・貨客混載など生産性向上に向けた取り組みの検討を行った。

##### 【事業3】運行ダイヤの見直しによる乗り継ぎ利便性の向上

・JR→路線バス→コミュニティバスの順で連携を図りながら円滑な乗り継ぎに配慮しダイヤ調整を行っている。  
（※参考）事業実施により解決を図るべき課題

（課題1）潜在的な交通弱者への対応（事業1・2・3関係）

（課題2）交通空白地域の対応（事業1・2関係）

（課題3）地域ニーズに応じた運行形態の検討（事業1関係）

（課題4）バス・鉄道間の乗り継ぎの利便性向上（事業3関係）

（課題7）地域連携軸の強化（事業2・3関係）

## 目的・必要性

本市の中心市街地である羽後本荘駅周辺と、各地域の拠点となる施設のアクセス性を強化することで、地域間移動を円滑にし、を中心市街地と各地域とのアクセシビリティ(行きやすさ、乗りやすさ)向上を目指す。

## 定量的な目標・効果

（現況）（達成目標）

【指標1】中心市街地―地域拠点間の路線バスの平均運行本数 15本／日 15本／日

【指標2】幹線路線の1日あたり平均輸送人数 15人／日 15人／日

## 実施状況、目標・効果の達成状況

路線バスとして、地域間（他市町村間）で3路線、広域拠点から地域拠点間で3路線、地域内6路線の計12路線を運行している。「指標1」では、路線の改廃に伴い、東由利地域方面への急行横手線(4)・東由利線(8)、大内地域への岩谷線で14と、目標を割り込んでいる。「指標2」では、幹線路線で15人を割り込んだ路線はなかった。

また、路線バスとコミュニティバスの乗り継ぎ利便性を考慮し、互いに発着時間などについて柔軟な対応が図られるよう、それぞれの事業者に対して協力を求めている。

## 今後の課題・改善点

路線バスの維持確保のため「生産性向上」の取組みを進め、新規利用者の掘り起こしや収支改善を図る。  
また、乗り継ぎに關して改善できる余地がないか点検・検討を行い、JR→路線バス→コミュニティバスの順を基本としてダイヤの調整を図りたい。



# 由利本荘市地域公共交通活性化協議会

事業名：網形形成計画事業実施（施策2）

## 概要

＜施策2＞地域拠点を核としたフィーダー交通の導入  
右に記載の「目的・必要性」に基づいた個別の事業を実施し、課題の解決を図ることで目標の達成を目指します。

### ◎事業名と実際に入り組んだ内容など

#### 【事業4】地域拠点を核とした、交通空白地域をカバーする フィーダー運行路線の導入

- ・生活交通確保改善計画(地域内フィーダー系統確保維持事業)を平成28年度から策定し認定を受けている。対象路線は市内循環バス、道川北線、西目線、中田代線、羽広一軽井沢線。平成29年9月まで実証運行された子吉線、八塩線、法内線も平成30年度計画から掲載されるよう進めている。
- ・由利地域の鮎川(西沢)に子吉線(東地区路線)を延伸して交通空白地域の解消が図られた。

#### 【事業5】住民参加型の公共交通サービスの検討

- ・本荘地域子吉地区をはじめとする7地域で33回の説明会や対話会などを開催。また、アンケートも2地域で2回実施した。  
・路線バスの運行について、要望のあつた住民と共に直接現地を廻るなどして共通理解を図りながら検討をした。

(※参考)事業実施により解決を図るべき課題

- (課題1) 潜在的な交通弱者への対応(事業4・5関係)
- (課題2) 交通空白地域の対応(事業4・5関係)
- (課題3) 地域ニーズに応じた運行形態の検討(事業4・5関係)
- (課題8) 公共交通機関の魅力向上(事業5関係)



## 目的・必要性

地域拠点と地域郊外を結ぶフィーダー運行路線を導入し、公共交通事業の持続可能性に配慮しながら、地域郊外に点在する交通空白地域の解消に向けて取り組む。

## 定量的な目標・効果

【指標3】交通空白地域が解消された地域数  
(現況) 0地域  
(達成目標) 8地域

【指標4】地域ニーズに応じた公共交通サービスの提供方法等  
に関わる住民参加型対話会の開催地域数  
1地域  
8地域

## 実施状況、目標・効果の達成状況

交通空白地域が完全に解消されるという地域はないものの、フィーダー交通の導入やコミュニティバスの路線延伸などにより、計画策定期と比較しカバー率の改善が図られた。地域が5地域ある(本荘・岩城・由利・大内・東由利・鳥海)。コミュニティバスの導入に向けての意見交換や利用促進についての検討の場など、これまで市内7地域で82回実施しているほか、アンケートも6地域で14回実施している。

## 今後の課題・改善点

本市は広範な面積を有し、交通空白地域が点在している。そのため、現状のコミュニティバスを中心とした施策では交通空白地域を完全に解消することは困難であると考えられる。地域の実情やニーズ、また持続可能性にも配慮し、デマンドタクシーの導入や町内会、NPO等による運行も視野に入れ、柔軟に交通空白地域への対応を図る。また、福祉医療や商工、教育分野など、これまで以上に地域住民や関係機関などが、ともに考え、連携を図り、公共交通に対する理解を深めることで、利便性の向上と利用者の増加に努める。

# 由利本荘市地域公共交通活性化協議会

事業名：網形形成計画事業実施（施策3）

## 概要

＜施策3＞地域拠点・交通結節点の整備促進  
右に記載の「目的・必要性」に基づいた個別の事業を実施し、  
課題の解決を図ることで目標の達成を目指します。

◎事業名と実際に取り組んだ内容など

【事業6】中心市街地および地域拠点における乗り継ぎ施設、  
待合所の整備

・由利地区(鮎川)に延伸した「子吉線」沿線において、町内会の協力を  
得て既存のスクールバス待合所を活用できだ。

【事業7】地域拠点および交通結節点のバリアフリー化

・羽後本荘駅の東西自由通路整備事業に伴う駅舎の改築に合わせて  
対応予定(H32年度完成予定)

【事業8】乗り継ぎ支援、運行情報等の情報提供設備の整備

・秋田～本荘間の幹線系統において、バスの位置情報をアプリで確認  
できるサービスを提供中

・バス停留所時刻表示などをQRコードを盛り込み、そこから市の公共交通  
情報サイトへ接続することで、各種公共交通機関の情報を収集  
できる仕組みを構築中(本荘地域循環バスなどの一部で対応中)

【事業9】公共交通の魅力向上・利用促進策の実施

・H29.10月に「バスの乗り方教室・良い子の書きバス」を実施  
(由利小学校)

・SNS(主に市facebook)にトピックを掲載し、周知と「マイバス意識」の  
醸成に努めた。

(※参考)事業実施により解決を図るべき課題

(課題1) 潜在的な交通弱者への対応(事業6・7・8関係)

(課題2) 交通空白地域の対応(事業6関係)

(課題4) バス・鉄道間の乗り継ぎの利便性向上(事業6・7・8関係)

(課題5) バス路線・運行情報の充実(事業6・8・9関係)

(課題6) 交通結節点等における待合環境の整備(事業6・8・9関係)

(課題7) 広域連携軸の強化(事業6・7・8関係)

(課題8) 公共交通機関の魅力向上(事業8・9関係)

## 目的・必要性

各地域の乗り継ぎ拠点となる施設のバリアフリー化や交通結節点の整備等に取り組むことで、乗り継ぎの利便性の向上や待合環境の改善に向けて取り組む。

## 定量的な目標・効果

【指標5】屋根・ベンチ整備済み待合所の普及率 (現況) (達成目標)

【指標6】冬季におけるバス待合所周辺の除雪ボランティア登録数 39.0% 41.6%

1団体 3団体

## 実施状況、目標・効果の達成状況

【指標5】の屋根・ベンチ整備済み待合所の普及率は子吉線の鮎川延伸に伴い、既存のスクールバス待合所を活用できたことから達成目標を1.3%上回った。

【指標6】の除雪ボランティア登録数は策定時と変わらず1団体であるが、バス停付近の町内会にも作業協力をしていただけたがるよう広がりを持たせられるよう取り組んでいる。

## 今後の課題・改善点

先進地などの取り組みを参考に、分かりやすい形での公共交通情報を発信をここにがけ  
利便性の向上に配慮していくほか、バスへのラッピングや乗り方教室を実施することで、  
公共交通に対する理解を深めつつ、魅力の向上を図る。

また、鉄道・バス・タクシー・行政など事業、団体にかかわらず、一体となり利用促進に努  
め、既存の路線等を最大限に利活用できるよう進めていきたい。



(資料4)

# 由利本荘市 地域公共交通網形成計画 事業評価・検証 「資料編」

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会「分科会」

(平成30年1月26日実施)

## (路線バス)運行本数・利用者数調べ【施策1関係】

H29.4.1改正 時刻表から

路線名	運行本数(便数)	平成28年度		平成29年度		備考
		1日あたり乗車人数	運行本数(便数)	1日あたり乗車人数	1便あたり乗車人数	
急行秋田線	18	146.7	8.1	153.3	8.5	(広域・自主運行)本荘一秋田市【国庫補助】
急行横手線	6	36.0	6.0	4	29.0	7.3 (広域)本荘一東由利一横手市【県補助】
東由利線	8	41.3	5.2	8	47.3	5.9 H28.10.1から一部路線廃止し「東由利線」に。本荘一東由利【県補助】
象潟線	42	316.7	7.5	42	286.7	6.8 (広域)本荘一西目一にかほ市【国庫補助】【県補助】
市内線	4(6)	26	6.5	3(5)	16.3	5.4 自主運行
中央線	7	84.0	12.0	16	108.0	6.8 自主運行
福祉エリア線	8	14.3	1.8	8	20.3	2.5
県立大学線	10	14.0	1.4	10	20.0	2.0 自主運行
松ヶ崎線	10	57.3	5.7	10	44.0	4.4
岩谷線	14	49.7	3.5	14	51.0	3.6 本荘一大内(岩谷)
赤田線	12	110.7	9.2	12	92.0	7.7
本荘伏見線	22	139.3	6.3	19	114.0	6.0 本荘一由利一矢島一鳥海
(参考)	合計	1036.0		合計	982.0	

※1 運行本数(便数)はH29.4.1改正のバス時刻表から抽出

※2 利用者数(はH29.10.3(火)からの平日3日間のサンプル調査の平均値を使用

※3 各項目の表記について

- ・市内線の運行本数…「3(5)」=カッコ書きの「5」は12/1～2/28までの冬期間運行によるもの
- ・備考欄の「(広域)」…他市町村へ行き来する路線
- ・備考欄の「【国庫補助】」…国庫補助対象路線
- ・備考欄の「【県補助】」…県補助対象路線
- ・備考欄の「独自運行」…国・県・市からの補助がない路線
- ※未表示の路線は「市単独補助」路線

## 地域別 公共交通力バー率 算出表【施策2関係】

地域名	総メッシユ数	地域ごとの「交通空白地域のメッシユ数」 および 「公共交通力バー率」						増減内容
		計画策定時	H27年度	H28年度	H29年度	空白地 数	カバー 率	
本荘	292	89	69.5	89	69.5	76	74.0	H28:子吉線開設により(△13)
矢島	97	43	55.7	43	55.7	43	55.7	
岩城	97	→ 6	93.8	5	94.8	5	94.8	H27:道川北線の開設により(△1)
由利	101	→ 33	67.3	33	67.3	33	67.3	H29:子吉線の鮎川(西沢方面)延伸により(△11)
大内	216	54	75.0	54	75.0	52	75.9	H28:代内(△1)、軽井沢生活改善センター～羽広間(△1)の開設により
東由利	141	82	41.8	82	41.8	40	71.6	H28:八塩線、法内線、大吹川線の開設により(△42)
西目	53	9	83.0	9	83.0	9	83.0	
鳥海	222	69	68.9	64	71.2	62	72.1	H27:中直根線(匂田代・打越デマンド:△2)、間木ノ平～長畠(△3)の開設により H28:上椿デマンド開設による(△2)
全 域	1167	367	68.6	361	69.1	307	73.7	296 74.6

※1 メッシユの一つあたりの大きさは500メートル(四方)

※2 バス停から半径300メートル、鉄道駅から半径800メートルに入らない箇所(居住地)を由利本荘市では「交通空白地域」として設定

※3 地域をまたぐメッシユがあるため、地域別の数字の積み上げと全域分の数字は一致しない、

## 地域別 住民説明会・対話会、アンケート実施 一覧表【施策2関係】

地域名	H27年度				H28年度				H29年度				備考
	住民説明会 対話会など 実施	回数	アンケート 実施	回数	住民説明会 対話会など 実施	回数	アンケート 実施	回数	住民説明会 対話会など 実施	回数	アンケート 実施	回数	
本荘	○	8	○	2	○	3	○	2	○	7			(アンケート) H27…松ヶ崎線・循環バス H28…子吉線・本荘工業団地
矢島													路線の改廃・ダイヤ改正なし
岩城	○	7	○	1	○	4			○	5	○	1	(アンケート) H27…道川北線 H29…岩城線休日運行について
由利	○	3							○	3			(アンケート) H26以前…鮎川地区
大内	○	6			○	2	○	1	○	8			(アンケート) H28…及位・平岫
東由利	○	6	○	2	○	5	○	1	○	5	○	1	(アンケート) H27…東由利全域 H28…東由利全域(意見募集) H29…地域内の買い物動向・意識(関連)
西目	○	1	○	1	○	1			○	1			(アンケート) H27…出戸・海士剥東部
鳥海	○	2	○	1	○	1	○	1	○	4			(アンケート) H27…上椿、H28…皿川線
計	7	33	5	7	6	16	4	5	7	33	2	2	

# 市コミュニティバス バス停留所・待合所 一覧表【施策3関係】

地域名	屋根つき 待合所 (A)	ベンチつき 停留所 (B)	小計		停留所 (標識柱) (D)	(C)+(D) (E)	合計 (C)+(D) (E)	(※参考) 「フリー乗降区間」 で時刻表のみの掲示
			(A)+(B) (C)	(A)+(B) (C)				
本荘	5	2	7	62	69		18	
矢島	3	0	3	0	3	3	8	
岩城	11	0	11	22	33		1	
由利	10	0	10	1	11		2	
大内	50	2	52	14	66		3	
東由利	5	0	5	19	24		0	
西目	12	0	12	8	20		0	
鳥海	3	0	3	11	14		36	
合計	99	4	103	137	240		68	
			(C) ↑	(E') ↑				

◎ 「屋根・ベンチ」整備済み待合所の普及率  $((C') / (E') * 100)$ ) 42.9%